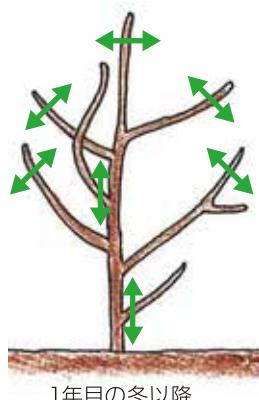




栗の剪定作業をしましょう

栗は、樹が休眠中の冬の時期が剪定の適期です。剪定を行い翌年に品質の良い栗の収穫を目指しましょう。剪定の目的は、①樹全体の日当たりを良くし、果実を大きくすること②樹の内部や樹間の風通しをよくして、病害虫の発生を減らすこと③樹の高さを低くして、収穫や栽培管理・農薬散布をしやすくすること等があります。

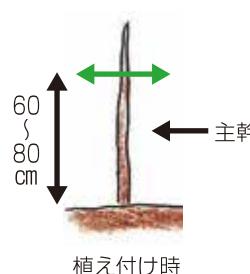
◎剪定の手順 樹齢や樹の高さなどによって剪定の方法が変わります。



1年目の冬以降

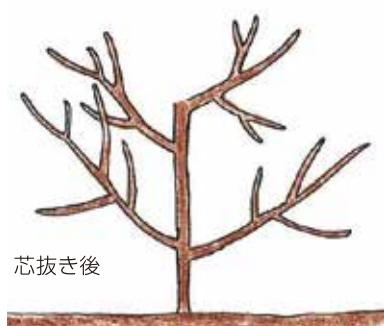
樹の周りをよく観察し、緩やかに別々の方向に伸びている枝3~5本を主枝候補と決め、それを邪魔する枝混みすぎた部分を間引くように枝の分岐部分から切れます。また、枝の先端部を軽く切り返すと結実しないため、樹の生長を促せます。

〇1年目から5年目

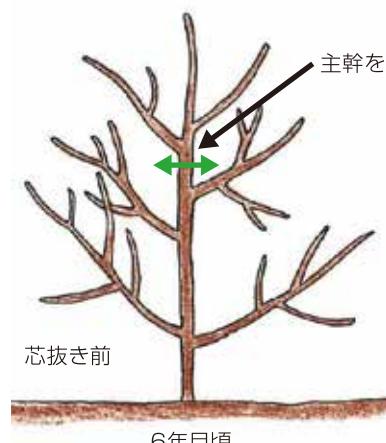


地面から60~80cmの高さで切り、新しい枝を出やすくなります。

〇植え付け時



芯抜き後



芯抜き前

〇6年目頃
主枝候補を残してそれより上の主幹を切れます。これを「芯抜き」といい、樹の内部に光が当たりやすくなり、品質の良い栗を収穫できます。

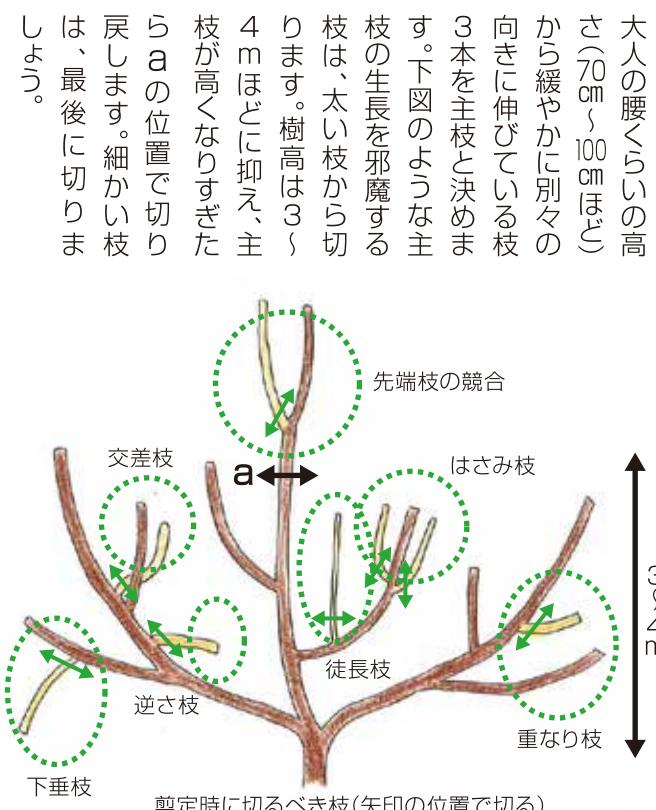
①幼木～若木（植え付け～6年目）

大人の腰くらいの高さ(70cm~100cmほど)から緩やかに別々の向きに伸びている枝3本を主枝と決めます。下図のような主枝の生長を邪魔する枝は、太い枝から切ります。樹高は3~4mほどに抑え、主枝が高くなりすぎたらaの位置で切り戻します。細かい枝は、最後に切りましょう。

③老木（20年目頃）



カットバック後、新芽が伸びてきた様子



②成木（7年目～20年目頃）